ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2016－09

運用報告書（全体版）
満期償還

（償還日　2020年12月21日）
（作成対象期間　2020年９月15日～2020年12月21日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）		
信託期間	約４年３カ月間（2016年９月30日～2020年12月21日）		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫の受益証券	
	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫	イ．世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） ロ．世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ．先進国の国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

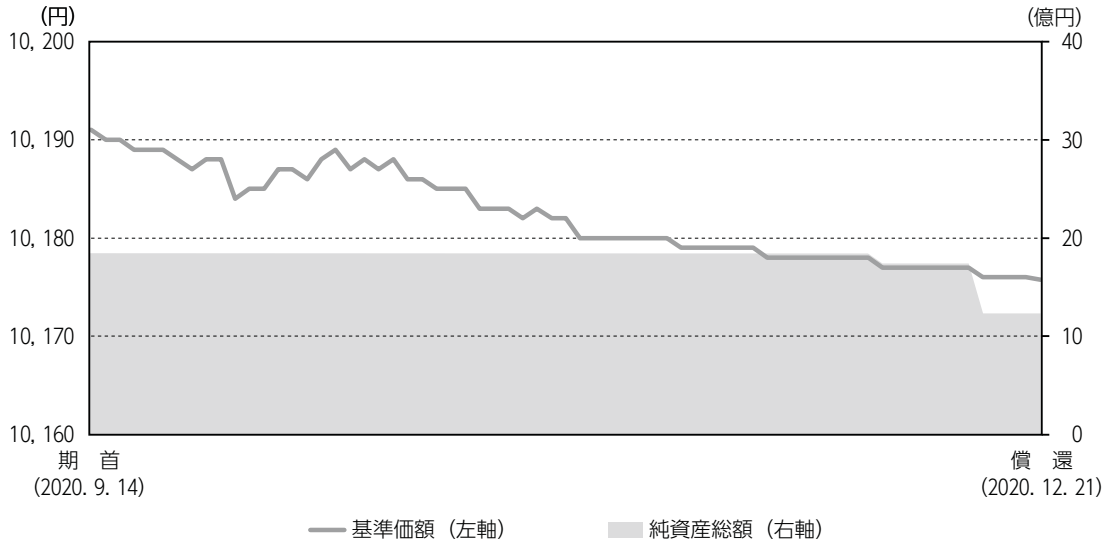
設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者利回り	公社債組入比率	元本残存率
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落額	期中騰落率			
	円	円	円	%	%	%	%
設　定（2016年9月30日）	10,000	—	—	—	—	—	100.0
1期末（2017年3月14日）	10,030	60	90	0.9	2.0	95.4	100.0
2期末（2017年9月14日）	10,319	40	329	3.3	4.4	98.7	99.4
3期末（2018年3月14日）	10,428	40	149	1.4	3.9	97.1	98.9
4期末（2018年9月14日）	10,325	40	△ 63	△ 0.6	2.6	98.0	98.9
5期末（2019年3月14日）	10,326	40	41	0.4	2.2	96.0	98.9
6期末（2019年9月17日）	10,324	40	38	0.4	2.0	97.9	98.9
7期末（2020年3月16日）	10,164	40	△ 120	△ 1.2	1.3	61.0	98.9
8期末（2020年9月14日）	10,191	50	77	0.8	1.4	32.6	98.9
償　還（2020年12月21日）	10,175.72	—	△ 15.28	△ 0.1	1.2	—	66.1

（注1）基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：10,175円72銭（既払分配金350円）
騰落率：5.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫」の受益証券を通じて、主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入などを反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2016-09

年　月　日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期 首）2020年９月14日	10,191	—	32.6
９月末	10,184	△ 0.1	32.5
10月末	10,182	△ 0.1	—
11月末	10,178	△ 0.1	—
（償 還）2020年12月21日	10,175.72	△ 0.1	—

（注）騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について （2016. 9. 30 ～ 2020. 12. 21）

■海外債券市況

海外債券市況では、金利は低下しました。

当ファンド設定時より、英国のＥＵ（欧州連合）離脱に対する警戒感などを背景に主要国の国債金利が低下する中、社債金利は日銀やＥＣＢ（欧州中央銀行）による新たな金融緩和策の影響もあり、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小を伴って低下しました。2016年後半には、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の経済政策に対する期待感から、国債金利に連動する形で社債金利も大きく上昇しました。2017年に入ると、トランプ政権の政策実行能力に対する懸念や北朝鮮情勢への警戒感などが、金利上昇を抑制する要因となりました。９月以降は、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が継続的な利上げ実施を示唆する中、バランスシートの縮小開始を決定したこともあり、社債金利は国債金利とともに上昇基調となりました。しかし2018年12月からは、米国の金融政策の方向性が緩和に転じて利下げが実行されたことや、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示して米中通商協議への懸念が強まったことなどを受け、社債金利は国債金利とともに低下しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の減速懸念の高まりから国債金利は低下したものの、社債のスプレッドは大幅に拡大し、金利は上昇しました。しかし、主要各国の政策当局が金融機関や企業の資金繰りに関して大規模な支援策を金融・財政の両面から打ち出して信用収縮への懸念を抑え込んだことから社債のスプレッドは縮小し、金利は低下しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫」の受益証券を高位に組み入れて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

信託期間中のポートフォリオについて （2016. 9. 30 ～ 2020. 12. 21）

■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫」の受益証券を高位に組み入れました。

■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期60円、第2期～第7期各40円、第8期50円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

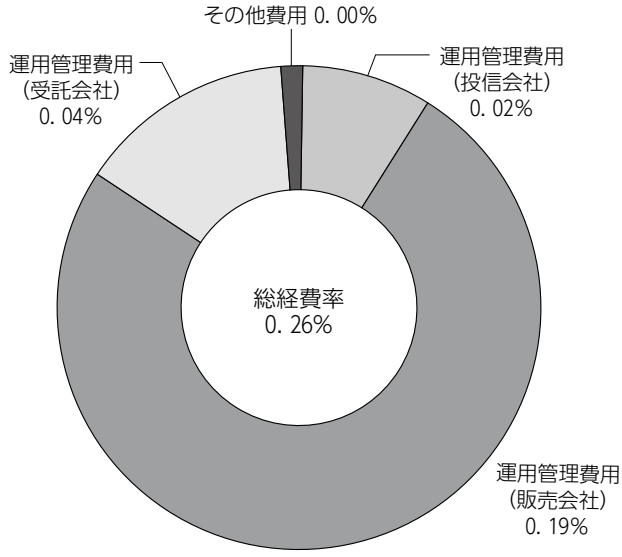
項目	当期 (2020.9.15～2020.12.21)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	7円	0.068%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,182円です。**
（投信会社）	(1)	(0.006)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(5)	(0.052)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.010)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.001	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	7	0.070	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



(注１) １万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注２) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注３) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2020年９月15日から2020年12月21日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020−12≫	—	—	1,082,628	1,210,880

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	期首
	口数
	千口
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020−12≫	1,082,628

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月21日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,232,561	100.0
投資信託財産総額	1,232,561	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月21日現在

項目	償還時
（A）資産	**1,232,561,941円**
コール・ローン等	1,232,561,941
（B）負債	**1,300,276**
未払信託報酬	1,299,324
未払利息	952
（C）純資産総額（A−B）	**1,231,261,665**
元本	1,210,000,000
償還差損益金	21,261,665
（D）受益権総口数	**1,210,000,000口**
１万口当り償還価額（C／D）	**10,175円72銭**

＊償還時の計算口数当りの純資産額は10,175円72銭です。

■損益の状況

当期　自2020年９月15日　至2020年12月21日

項目	当期	
（A）配当等収益	△	**114,187円**
受取利息		3,692
支払利息	△	117,879
（B）有価証券売買損益		**96,111,966**
売買益		96,111,966
（C）有価証券評価差損益	△	**96,801,005**
（D）信託報酬等	△	**1,904,186**
（E）当期損益金（A＋B＋C＋D）	△	**2,707,412**
（F）前期繰越損益金		**34,599,077**
（G）解約差損益金	△	**10,630,000**
（H）合計（E＋F＋G）		**21,261,665**
償還差損益金（H）		**21,261,665**

（注１）有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。
（注２）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注３）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年９月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年12月21日		資産総額	1,232,561,941円
区分	投資信託 契約締結当初	投資信託 契約終了時	差引増減又は 追加信託	負債総額	1,300,276円
				純資産総額	1,231,261,665円
受益権口数	1,829,840,584口	1,210,000,000口	△ 619,840,584口	受益権口数	1,210,000,000口
元本額	1,829,840,584円	1,210,000,000円	△ 619,840,584円	１単位当り償還金	10,175円72銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第１期	1,829,840,584	1,835,396,194	10,030	60	0.60
第２期	1,820,000,000	1,877,986,741	10,319	40	0.40
第３期	1,810,000,000	1,887,473,492	10,428	40	0.40
第４期	1,810,000,000	1,868,898,936	10,325	40	0.40
第５期	1,810,000,000	1,868,945,062	10,326	40	0.40
第６期	1,810,000,000	1,868,637,818	10,324	40	0.40
第７期	1,810,000,000	1,839,601,287	10,164	40	0.40
第８期	1,810,000,000	1,844,599,077	10,191	50	0.50
信託期間中１単位当り総収益金および年平均収益率				525円72銭	1.24%

（注）１単位は受益権１万口。

償還金のお知らせ	
１万口当り償還金	10,175円72銭

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫

運用報告書　満期償還　（償還日　2020年12月18日）

（作成対象期間　2020年９月15日～2020年12月18日）

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020－12≫の運用状況をご報告申し上げます。

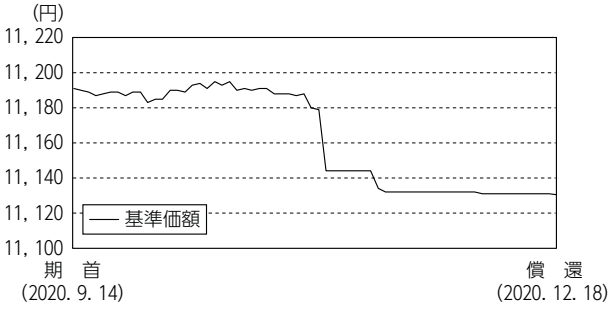
★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

運　用　方　針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） ロ．世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ．先進国の国債
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首) 2020年9月14日	11,191	—	49.6
9月末	11,183	△ 0.1	59.2
10月末	11,180	△ 0.1	—
11月末	11,132	△ 0.5	—
(償還) 2020年12月18日	11,130.49	△ 0.5	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時:10,000円　償還時:11,130円49銭　騰落率:11.3%

【基準価額の主な変動要因】

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入などを反映し、基準価額は上昇しました。

◆設定以来の投資環境について

○海外債券市況

海外債券市況では、金利は低下しました。

当ファンド設定時より、英国のＥＵ(欧州連合)離脱に対する警戒感などを背景に主要国の国債金利が低下する中、社債金利は日銀やＥＣＢ(欧州中央銀行)による新たな金融緩和策の影響もあり、スプレッド(国債に対する上乗せ金利)の縮小を伴って低下しました。2016年後半には、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の経済政策に対する期待感から、国債金利に連動する形で社債金利も大きく上昇しました。2017年に入ると、トランプ政権の政策実行能力に対する懸念や北朝鮮情勢への警戒感などが、金利上昇を抑制する要因となりました。9月以降は、ＦＲＢ(米国連邦準備制度理事会)が継続的な利上げ実施を示唆する中、バランスシートの縮小開始を決定したこともあり、社債金利は国債金利とともに上昇基調となりました。しかし2018年12月からは、米国の金融政策の方向性が緩和に転じて利下げが実行されたことや、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示して米中通商協議への懸念が強まったことなどを受け、社債金利は国債金利とともに低下しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の減速懸念の高まりから国債金利は低下したものの、社債のスプレッドは大幅に拡大し、金利は上昇しました。しかし、主要各国の政策当局が金融機関や企業の資金繰りに関して大規模な支援策を金融・財政の両面から打ち出して信用収縮への懸念を抑え込んだことから社債のスプレッドは縮小し、金利は低下しました。

◆信託期間中の運用方針

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール(繰上償還)等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆信託期間中のポートフォリオについて

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール(繰上償還)等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	1
(保管費用)	(1)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公　社　債

(2020年９月15日から2020年12月18日まで)

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル — (2,400)
	ユーロ (フランス)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ — (1,900)
	ユーロ (ドイツ)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ — (1,600)
	ユーロ (イタリア)	国債証券	千ユーロ —	千ユーロ 1,300 (1,200)
	ユーロ (ユーロ 通貨計)	国債証券	千ユーロ —	千ユーロ 1,300 (1,200)
		社債券	千ユーロ —	千ユーロ — (3,500)

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません)。
(注２) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注３) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注４) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公　社　債

(2020年９月15日から2020年12月18日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
		ITALIAN GOVERNMENT BOND（イタリア）0.65% 2020/11/1	158,829

(注１) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません)。
(注２) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド≪2020-12≫

■投資信託財産の構成

2020年12月18日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	80,880	100.0
投資信託財産総額	80,880	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月18日現在

項目	償還時
(A)資産	**80,880,259円**
コール・ローン等	80,880,259
(B)負債	**228**
未払利息	228
(C)純資産総額（A－B）	**80,880,031**
元本	72,665,263
償還差損益金	8,214,768
(D)受益権総口数	**72,665,263口**
1万口当り償還価額（C／D）	**11,130円49銭**

＊期首における元本額は1,823,602,030円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,750,936,767円です。
＊償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）2016−0972,665,263円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は11,130円49銭です。

■損益の状況

当期　自2020年9月15日　至2020年12月18日

項目	当期	
(A)配当等収益		**3,037,916円**
受取利息		3,481,987
支払利息	△	444,071
(B)有価証券売買損益	△	**3,798,619**
売買益		43,244,806
売買損	△	47,043,425
(C)その他費用	△	**35,533**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△	**796,236**
(E)前期繰越損益金		**217,112,048**
(F)解約差損益金	△	**208,101,044**
(G)合計（D＋E＋F）		**8,214,768**
償還差損益金（G）		**8,214,768**

（注）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。